

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	英語版切り絵紙芝居「たかやまの民話」制作と普及事業
事業主体 (連絡先)	高山村文庫石楠花 (026-214-9762)
事業区分	(3) 教育・文化の振興に関する事業 (1) 地域の協働の促進に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	457,946円 (うち支援金: 343,000円)

事業内容

- 1、英語版切り絵紙芝居「おらが天神様」の制作と発表活動を行った。
- 6月 民話のつどい inTAKAYAMA
- 7月 河東組女性会、9月 塩田平民話のひろば
- 10月 高山村文化祭、11月 清泉女学院大学交流会
- 12月 須坂高校交流会
- 2月 高山中学校1年対象発表、高山小学校6年対象発表
- 2、上記作品の冊子を作成し、高山小・中学校、近隣高校に配布するとともに、関係機関や民話サークル等に配布した。
- 3、紙芝居・冊子により、高校・大学との交流会を行い、歴史に対する理解と技量の向上を図った。
- 4、英語版切り絵紙芝居「山田温泉の延命桜」を制作した。



【清泉女学院大学との交流】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 1、制作や練習の過程で、村の歴史や自然に対する学びを深めるとともに、村内外の人々の関心も喚起した。特に観光協会等との新たな関係が生まれ、次年度以降の活動が期待される。
- 2、中学校・高校・大学との良い協力関係が生まれた。学校ボランティアや英訳の依頼等で、関係が持続発展する目途があった。
- 3、交流会や発表会をとおして意見交換をすることで、会員のモチベーションが上った。
- 4、第1作の反省が活き「山田温泉の延命桜」上演に向けて意欲的に練習に取り組める。

【目標・ねらい】

- ① 英語版切り絵紙芝居を制作し、これまでの交流範囲を拡大する。
- ② 高校生・大学生と交流を深め、活動の質の向上を図る。
- ③ 歴史や文化に対する関心を深める。

※自己評価【 A 】

【理由】

予想を上回る反響があり、交流の幅が格段に広がった。高山小・中学校との関係が広がった。今後の活動のレベルアップが期待できる。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- 1、6月19日に実施予定「民話のつどい inTAKAYAMA」の一層の充実を図る
- 2、英語版切り絵紙芝居を2作制作し、併せて冊子を発行し、偉大な先人の顕彰に貢献する。
- 3、他機関と協働して、村の歴史や自然に対する関心を深めるとともに観光振興に貢献する。
- 4、外国人の前で発表する機会を開拓する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある